

平成27年度 公立学校教職員定期人事異動の概況

学校人事課

1 事項の説明

(1) 人事異動の基本的な方針

- ① 全県的視野に立った広域交流に努める。
- ② 各学校の課題解決を図る人事異動に努める。
- ③ 特色ある学校づくりのための人事配置に努める。
- ④ 男女バランス、年齢等の職員構成について考慮する。
- ⑤ へき地校への異動促進を図る。

(2) 定期人事異動の概況

<校種別の内訳>

校種	職員数(人)	異動者数(人)	異動率(%)	前年度異動率(%)
小学校	4,556	1,081	23.8	25.2
中学校	2,730	621	22.8	24.2
高等学校	3,682	865	23.5	23.3
特別支援学校	1,279	341	26.7	25.7
合計	12,247	2,908	23.7	24.5

- ① 定期人事異動は原則5年としており、公立学校本務教職員数12,247人中2,908人が異動し、異動率は23.7%(前年度は24.5%)となっている。
- ② 退職者数は、小学校が173人、中学校が74人、高等学校が79人、特別支援学校が37人で合計363人である。(前年度は374人)
- ③ 管理職への昇任は、校長66人(11)、教頭67人(17)、合計133人(28)である。
 * H27 受験者数 校長・教頭 611(92) 合格者数206(42) 合格率33.7(45.7)
 H26 受験者数 校長・教頭 622(88) 合格者数218(41) 合格率35.0(46.6)
- ④ 事務長への昇任は、課長相当職3人(2)、班長相当職13人(7)である。
 ※()内の数字は女性で内数
- ⑤ 副校長は、小中学校3人、高等学校3人、主幹教諭は、小中学校12人、高等学校2人、特別支援学校9人の配置を行った。
- ⑥ 新規採用者数は、教諭439人、養護教諭16人、事務職員23人、学校栄養職員4人、その他職員22人 合計504人(前年度:480人)である。
- ⑦ 高等学校においては、養護教諭23校、教頭27校の複数配置を行った。
- ⑧ 栄養教諭については、単独調理場7人、共同調理場32人の配置を行った。

(3) その他(①少人数指導と②少人数学級)

- ① 小中学校においては、児童生徒数や学級数に応じて配置される基礎定数とは別に指導方法工夫改善等の加配定数を394人配置することで、学校が抱える教育課題の解決に向けて取り組んでいる。
- ② 小学校1年生から小学校3年生及び中学校1年生については、少人数学級(標準学級編制に比べ243学級増)を実施することできめ細かな指導の充実を図っていく。